

パノラマ
キートン
富山に
来られ



富山県

平成28年度富山県公文書館企画展

とやまの観光 むかし・いま

開催
期間

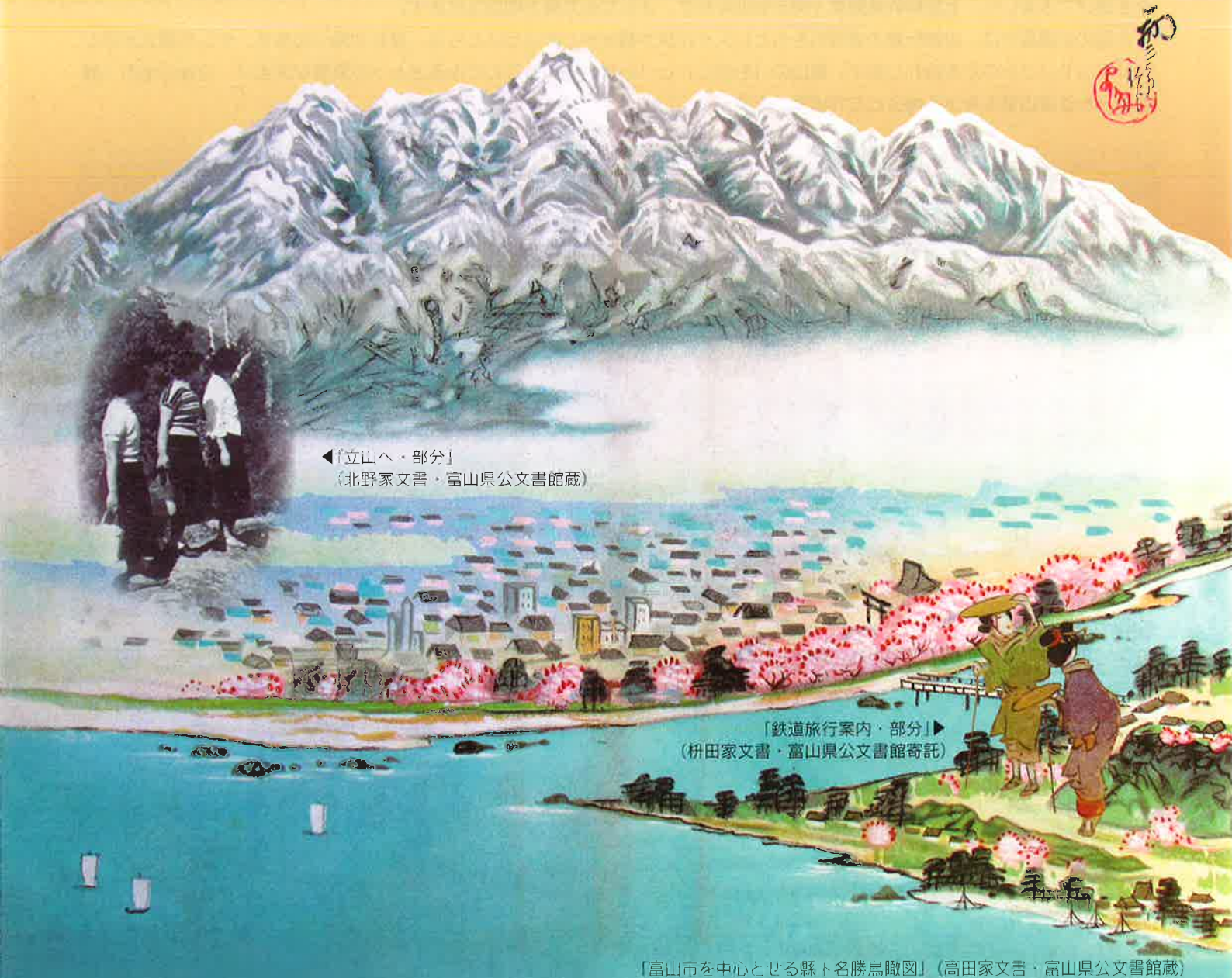
平成28年
9月29日(木)～11月3日(木)

会期中は10月30日(日)を除き土日祝開館

入場
無料

開館
時間

9:00～17:00



◀「立山へ・部分」
(北野家文書・富山県公文書館蔵)

▶「鉄道旅行案内・部分」
(柘田家文書・富山県公文書館寄託)

「富山市を中心とする縣下名勝鳥瞰図」(高田家文書・富山県公文書館蔵)

講演会

日時／10月6日(木) 10:00～11:30
場所／富山県公文書館 研修室
講師／鈴木 晃志郎 氏 (富山大学人文学部准教授)
演題／「観光地富山の可能性と課題」

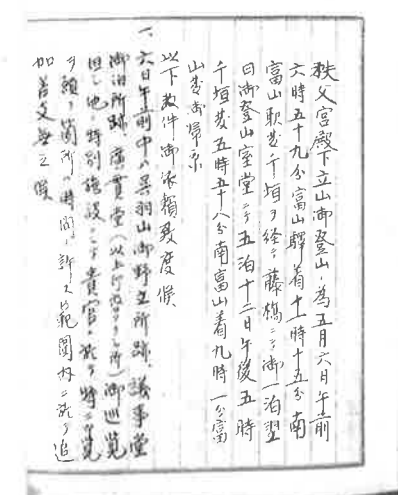
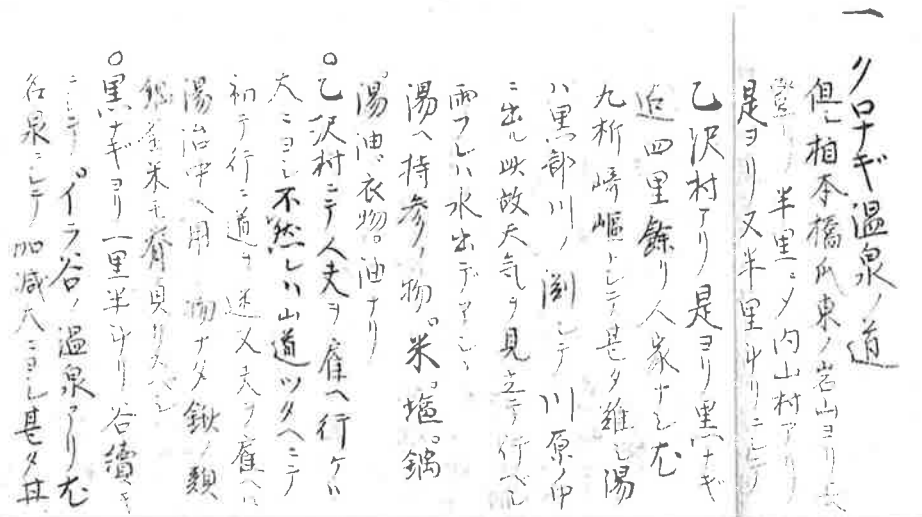
※講演会に参加ご希望の方は、通常はがき又はインターネットで公文書館までお申し込みください。申込期間／8月26日(金)～9月6日(火)

とやまの観光むかし・いま

人は旅に何を求めるのでしょうか。寺社参詣や湯治、物見遊山の旅が流行した江戸時代。明治になり、道路・鉄道網が整備されると、旅行がブームとなり、各地に観光名所が登場しました。

富山県でも、大正2年(1913)に富直線(富山・直江津間)の完成により北陸線が全通して首都圏と直結したのを機に、一府八県連合共進会を開催し、名所旧跡や富山の良さを県外にアピールしました。当時の人々は、新聞や名所案内、地図、絵葉書などから情報を集め、全国的景勝地から身近な避暑地にいたるまで、幅広く観光に関心を持っていました。戦後は、経済復興・高度経済成長が進む中、自然保護に配慮しつつ立山黒部アルペンルートを開通させるなど、富山の観光は、常に時代の中で変化を遂げてきました。北陸新幹線開業1周年を迎えた今、さらなる発展が期待されます。

今回の企画展では、当館所蔵の史資料をもとに人々が旅や観光をどのようにとらえ、憧れや関心を寄せ、そして観光がさかんになっていったのかを紹介します。富山の「むかし」と「いま」を知ることでのふるさとへの愛着が深まり、今後の活力・魅力あふれる富山県を考える機会となれば幸いです。



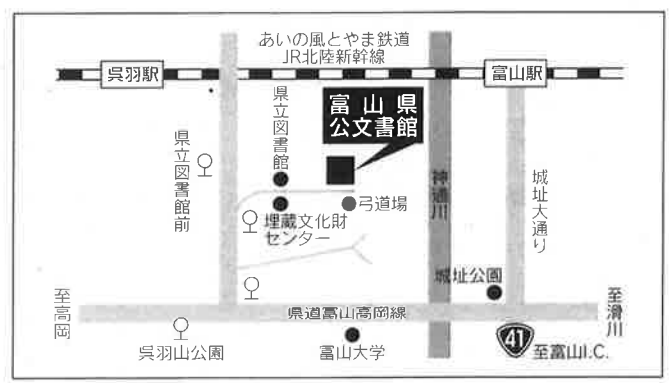
「小川温泉日記」
(海内家文書・富山県公文書館蔵)

「秩父宮殿下立山御登山一件」
(富山県公文書館蔵)

●主な展示史料

展示史料名	所蔵
「小川温泉日記」	富山県公文書館(海内家文書)
「諸国温泉効能鑑」	富山県公文書館(石井家文書)
「越中国立山温泉并新道之図」	富山県立図書館
「富山名所」12枚	富山県公文書館(河尻家文書)
「秩父宮殿下立山御登山一件」	富山県公文書館
「富山県知事稟申富直鉄道ノ儀ニ関スル件」(複製)	国立公文書館
「鉄道旅行案内」	富山県公文書館(棚田家文書)
「最新実測富山市街図」(大正11年)	富山市郷土博物館
「八尾案内」	富山県公文書館(北野家文書)
「富山市を中心とせる縣下名勝鳥瞰図」(昭和7年)	富山県公文書館(高田家文書)
「立山開発鉄道千丈原・美女平間工事着工」(複製)	国立公文書館
『富山県総合開発計画』	富山県公文書館

(その他、パネル展示多数。)



●交通機関

- JR富山駅発バス ●新港東口行(県立図書館前)下車徒歩……………3分
- 高岡小杉方面行(呉羽山公園)下車徒歩……………10分

●展示説明会予定 9月29日(木) 開会式終了後(10:10~10:40) 10月6日(木) 講演会終了後(11:30~12:00)
10月10日(月・祝) 10:00~10:30 10月27日(木) 10:00~10:30